



最近は気温の高くなる日が増えておりますが、同時に1日の中での寒暖差が大きい日というのも増えております。人間は前日から、または1日の間で7度以上の寒暖差があると体に不調が出ることがあるそうで、特に春、秋は寒暖差が大きくなりがちです。対処方法としては、体を動かしたり、湯船につかったりすると良いそうですので、皆様も体調を崩さないように気を付けながらGWを楽しみましょう！

(担当) K.N

目 次

1. 水田活用の直接支払交付金における5年水張りルールの変更について
2. 農業の主役である「人」づくりを目指す「酒田もっけ田農学校」第3期生の募集
3. スマート農業活用人材育成研修会の受講生の募集
4. 山形県やまがた地鶏生産トライアル支援事業費補助金の要望調査について
5. 今月のおすすめの農業体験をご紹介します！
6. 米に関するマンスリーレポート等（令和7年4月）

【1. 水田活用の直接支払交付金における5年水張りルールの変更について】

水田政策が令和9年度から根本的に見直されます。水田活用の直接支払交付金についても、これまでの水田を対象とした支援から、作物ごとの生産性向上等への支援へ転換されることとなりました。

それに伴い、現時点における交付対象水田の取り扱いが以下のとおり変更となりましたので、ご注意ください。

○変更内容／

<現行ルール>

令和4～8年度の間に下記のいずれかに取り組み、5年に1度繰り返し実施する。

- ・ 水稻作付け

- ・ 1 か月以上の湛水管理（連作障害による収量低下等の発生が確認されていないこと）

＜変更後ルール＞

令和4～8年度の間下記いずれかを実施する。

- ・ 水稻作付け
- ・ 1 か月以上の湛水管理（連作障害による収量低下等の発生確認は不要）
- ・ 連作障害を回避する取組（令和7、8年度実施分のみ）

○連作障害を回避する取組とは／

- ・ 土壌改良資材、有機物（堆肥、もみ殻等を含む）の施用
- ・ 土壌に係る薬剤の散布
- ・ 後作緑肥の作付け
- ・ 病害虫抵抗性品種の作付け
- ・ その他、地域農業再生協議会等が連作障害を回避する取組であると判断する取組

※令和7年度又は令和8年度における取組が対象となります。

○取組の確認方法について／

作業状況を記載する報告書と、使用した資材の購入伝票等の写しを、取組実施終了後に提出していただく方向で検討しています。

○問い合わせ／添付のチラシに記載されているお問い合わせ先にご連絡ください。

【2. 農業の主役である「人」づくりを目指す「酒田もっけ田農学校」第3期生の募集】

もっけ田農学校は「勘や経験」だけではなく「知識」や「データ」に基づいた稲作を学べる学校です。農作業時期に合わせた座学や実習を行うほか、先輩農家や同学校卒業生、地元企業との交流の場を設け、地域とのつながりをサポートします。

○受講期間／令和7年10月から令和9年3月（週1回程度の受講）

○場所／スマート農業研修センター（酒田市大宮町4丁目9-3）

○対象／稲作について学ぶ意欲がある本市での就農者（希望する方を含む）

○内容／稲作の基本的な栽培技術について、高温対策や土づくり、スマート農業などの最新技術を学び、自ら課題解決できる力を身につけます。

【座学】稲作の基礎用語、作業の意味および栽培技術などの習得

【実習】ポット苗・ほ場での生育調査や収量調査、品質調査、食味試験など

○定員／10名程度

○講師／㈱ファーム・フロンティア取締役会長 藤井 弘志氏ほか

○費用／【本市在住の方】月額5,000円（教材費別途）

【市外の方】申し込み先へお問い合わせください

○申し込み／6月30日（月）までに㈱ファーム・フロンティアへ

URL：<https://www.famfro.co.jp/knowledge/>

電話：0234-25-0830

○問い合わせ／市農政課担い手支援係（電話：0234-26-5766）

【3. スマート農業活用人材育成研修会の受講生の募集】

気候変動など農業を取り巻く環境が変化するなか、「常態化するリスクに負けない稲作へのモデルチェンジ～データ活用（科学的評価）に基づく対策の策定～」をテーマとした、高温対策や土づくりなど異常気象に対応できる専門的知識や技術、スマート農業などの実践的な手法を学べる研修会の受講者を募集します。

○日時／

第1回 令和7年6月3日（火）13時30分～15時

「スタートダッシュ（苗質、還元リスク）の評価と今後の対応」

第2回 令和7年7月8日（火）13時30分～15時

「栄養生長期（有効茎数、中干し開始時期）の評価と今後の対応」

第3回 令和7年8月19日（火）13時30分～15時

「持久力（葉身長、葉位別葉色、根の活力）の評価と今後の対応」

第4回 令和7年11月18日（火）13時30分～15時

「令和7年稲作（収量、品質、収量構成要素）の評価」

第5回 令和7年12月9日（火）13時30分～15時

「カルテ評価による課題抽出と対策の策定」

第6回 令和8年1月27日（火）13時30分～15時

「令和 8 年稲作の技術戦略の策定」

○場所／スマート農業研修センター（酒田市大宮町4丁目 9-3）

○対象／水稻を栽培する農業者等

○講師／(株)ファーム・フロンティア取締役会長 藤井 弘志氏

○定員／20 名程度

○受講料／無料

○申し込み／6月2日(月)まで(株)ファーム・フロンティアへ

URL：<https://www.famfro.co.jp>

電話：0234-25-0830

○問い合わせ／市農政課担い手支援係（電話：0234-26-5766）

【4. 山形県やまがた地鶏生産トライアル支援事業補助金の要望調査について】

新規にやまがた地鶏を生産する方に向け、生産に要する経費の支援に係る、令和 7 年度補助金要望調査を行います。

○対象者／農業を営む個人、法人、その他の企業・団体等

○要件／県内において新規にやまがた地鶏の生産に取り組む者

○補助金の額／

やまがた地鶏の生産に要する経費の 1/2 以内を補助（上限 31 万 1 千円）

○補助対象経費／

- ・やまがた地鶏の初生雛導入費
- ・ワクチン接種費
- ・衛生、防疫対策資材費

○調査締切／

要望調査の期間：令和 7 年 5 月 8 日（木）まで

ご不明な点はお問合せください。

○問合せ／市農政課生産振興係（電話：0234-26-5752）

【5. 今月のおすすめの農業体験をご紹介します！】

酒田市グリーン・ツーリズム推進協議会で提供している農業体験をご紹介します。おいしいいちごや孟宗など、酒田の春の恵みの収穫を子供も大人も楽しむことができる

体験です。ぜひ申し込んでみてください！

○体験メニューについて／

- ・体験メニュー①：いちご狩り体験

提供者：久保 美佳

連絡先：090-5352-1400

料 金：小学生以上 ～ 1,500 円

小学生未満 800 円

3 歳以下 無料

体験人数：2 名～20 名



- ・体験メニュー②：春のいちご狩り体験

提供者：佐藤 静子

連絡先：0234-31-1627

料 金：中学生以上 ～ 1,200 円

体験人数：3 名～7 名



- ・体験メニュー③：孟宗の収穫体験

提供者：ホワイト・グリーン・鳥海（代表：小松 幸雄）

連絡先：0234-64-4648

料 金：1 名 2,000 円

体験人数：5 名～20 名

○申し込み／農業体験提供者へ直接連絡

○問い合わせ／酒田市グリーン・ツーリズム推進協議会

URL：<https://www.sakatagreentourism.com/>

電話：0234-25-3100

【6. 米に関するマンスリーレポート等（令和7年4月）】

農林水産省より4月号が配信されました。

詳しくは下記 URL よりご参照ください。

○主な掲載内容

特集

- 1 政府備蓄米の買戻し条件付売渡しについて（入札・販売状況等） 特集-1
- 2 生産者・小規模事業者の在庫数量等に関する調査結果について 特集-2

農林水産省（農産）HP

<https://www.maff.go.jp/j/nousan/index.html>

農林水産省（マンスリーレポート）HP

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>

農林水産省（統計情報）HP

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html>



さかた農林水産業お役立ち情報

発行日：毎月1回＋臨時号

発行元：酒田市農林水産部農政課

☆ 酒田市の農業に関するホームページ

<https://www.city.sakata.lg.jp/sangyo/nogyo/index.html>

◇ ページ内のリンク先へのアクセスに起因する通信料の増大や被害等については、
発信者は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

◇ 市公式LINEでの配信の登録、配信停止等は下記リンク先を参考に設定をお願いいたします。

https://www.city.sakata.lg.jp/sangyo/nogyo/nosanbutsu/nosei_line.html



水田活用の直接支払交付金における 5 年水張りルール の変更について

水田政策を、令和 9 年度から根本的に見直します。水田を対象として支援する水田活用の直接支払交付金（水活）を、作物ごとの生産性向上等への支援へと転換します。

このため、令和 9 年度以降、「5 年水張りの要件」は求めません。

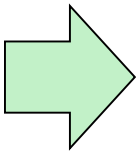
※ 現行水活の**令和 7 年度、8 年度の対応として**、水稻を作付け可能な田について、**連作障害を回避する取組を行った場合、水張りしなくても、交付対象とします。**

（食料・農業・農村基本計画（令和 7 年 4 月 11 日閣議決定）に位置づけられています。）

現行の「水田活用の直接支払交付金」におけるルールの変更内容

現行ルール

- 令和 4 ～ 8 年度の間に、
- 水稻作付 又は
 - 1 か月以上の湛水管理
(かつ、連作障害による収量低下等の発生が確認されていないこと)



変更後ルール

- 令和 4 ～ 8 年度の間に、
- 水稻作付 又は
 - 1 か月以上の湛水管理 又は
 - 連作障害を回避する取組
(令和 7 年度又は 8 年度)

※ 令和 4 ～ 6 年度に、水稻作付又は 1 か月以上の湛水管理に取り組んだ方は、令和 7 年度又は 8 年度の連作障害回避の取組は必須ではありません。

※ 1 か月以上の湛水管理を実施した場合、連作障害による収量低下が発生していないことの確認は求めないこととします。

連作障害を回避する取組とは

- 土壌改良資材・有機物（堆肥、もみ殻等を含む）の施用
- 土壌に係る薬剤の散布
- 後作緑肥の作付け
- 病害虫抵抗性品種の作付け
- その他地域農業再生協議会等が連作障害を回避する取組であると判断する取組

例えば・・・

- ・ 最適な土壌pHに矯正するため、播種前に苦土石灰を施用
- ・ 土づくりに向け、播種前に、発酵鶏糞を施用
- ・ センチュウ対策として、作付前に、くん蒸型の薬剤を使用し、土壌を消毒 など

注意点

令和7年度又は8年度における取組が対象であり、令和6年度以前に実施された取組は対象外です。

連作障害回避の取組の確認方法について

農業者の皆様におかれては、「連作障害を回避する取組」を行ったことの根拠資料として、

- ・ 取組を講じたことが分かる書類（作業日誌、栽培管理記録簿等）や
- ・ 当該作業に用いた資材の入手状況が分かる資料（購入伝票等）

を保管し、地域農業再生協議会の求めに応じて提出できるようにしておいてください。

お問合せ先

酒田市農業再生協議会

事務局：農林水産部農政課

連絡先：0234-26-5751

東北農政局 山形県拠点

連絡先：023-622-7247

東北農政局 生産部 生産振興課

連絡先：022-221-6169



講師紹介 ふじい ひろし
藤井 弘志

(株)ファーム・フロンティア取締役会長
山形大学農学部客員教授

庄内は“米づくり”“土づくり”“人づくり”といわれてきた土地です。
これからの稲作は、先人が培ってきた技術に新しい技術を加え、近未来志向
の戦略を作っていかなければなりません。皆様のチャレンジを精いっぱい応
援していきます。ともに頑張っていきましょう。

問い合わせ先

(株)ファーム・フロンティア
〒998-0824
山形県酒田市大宮町四丁目9-3
(スマート農業研修センター内)
TEL 0234 (25) 0830
FAX 0234 (25) 0831
E-mail info@famfro.co.jp



酒田もっけ田農学校

3期生募集
令和7年10月入学

さかたもっけだのうがっこう

酒田市への移住に興味のある方は
こちらをチェック！



新規就農など農業全般に関する
問い合わせはこちら

酒田市役所 農政課
〒998-8540
山形県酒田市本町二丁目2番45号
TEL 0234 (26) 5766
FAX 0234 (26) 6483

山形県酒田市で“農業”始めませんか
農業初心者も、あらためて学びたい方も大歓迎♪

だのうがっこう もっけ田農学校概要

- 「勘や経験」だけではなく、理論的・体系的な「知識」や「データ」に基づいた農業を学びます。
- 稲作の基本技術を守りながらスマート農業の本質を知り、活用方策を探ります。
- 先輩農家との交流の場をご用意し、地域とのつながりもサポートします。



農業を始める方へ！新規就農者支援メニューを紹介します

経営開始資金

- 経営開始時の負担をサポートする制度です。
- 年間150万円を最長3年間交付します。

経営発展支援事業

- 機械・施設等の導入を支援する制度です。
- 導入経費の3/4(最大750万円)を支援します。

未来を育む農業担い手育成支援事業

- 規模拡大や経営継承に向けた取組み等を支援する制度です。
- 補助率1/2(最大250万円)を支援します。

※新規就農者向けメニューの場合。取組みメニューにより補助金額が異なります。

※交付を受けるには要件がありますので、酒田市農政課までお問い合わせください。

カリキュラムのポイント

1年半のカリキュラムを通して、自分で考え、判断できる農業者を目指します。

1.稲作を基礎からしっかり学びます

稲の生長の仕組みを知り、稲作用語や作業の意味などの理解を進めます。

2.基本技術を守りながらスマート農業の本質を知り活用方策を探ります

スマート農業の主役は「ひと」です。基本となる栽培技術を身につけるとともに、最新技術を学びます。

3.充実した実習で、技術を体に定着させます

ポットや圃場での生育調査、先進圃場の視察や、地元企業や先輩農家との交流を行います。

【カリキュラム】

入学初年度	基礎研修：稲作の基礎、土壌肥料、植物栄養、病害虫、畑作、農業機械、スマート農業の基礎
次年度前期	実践研修(実習+講義)：ポットや圃場での生育調査や作業の確認、イネの分解、収量調査、品質調査、食味試験、先輩農家の視察
後期	応用研修：良食味栽培、低コスト栽培、スマート農業などの各論、自圃場の評価や課題抽出、次年度の計画策定

※詳細は、HPをご覧ください。

ご入学までの流れ(予定)

申込み ※詳しくは応募方法をご覧ください

* 申込み期間
令和7年4月～定員になり次第終了

ファーム・フロンティア講師との面談

入学前の準備 (事前学習を行います)

* その他
定員 10名程度
受講料 5,000円/月
(酒田市在住者)

入学 令和7年10月

※別途、教材費が発生します。
※市外の方は受講料が異なります。

応募方法

株式会社ファーム・フロンティアのホームページ(右記参照)よりお申込みください。後日要領等を送付させていただきます。



常態化するリスクに負けない 稲作へのモデルチェンジ

～データ活用(科学的評価)に基づく対策の策定～



講師：藤井 弘志

(株)ファーム・フロンティア取締役会長
山形大学農学部客員教授

申込は当社HPにて
受付中

<http://www.famfro.co.jp>



申込×
6/2(月)

時間：13:30～ (90分)

会場：スマート農業研修センター
(酒田市大宮町4-9-3)

◆全6回 参加費無料◆



第1回 6/3(火)
スタートダッシュ
(苗質、還元リスク)の
評価と今後の対応

第2回 7/8(火)
栄養生長期(有効茎数、
中干し開始時期)の
評価と今後の対応

第3回 8/19(火)
持久力(葉身長、葉位
別葉色、根の活力)の
評価と今後の対応

第4回 11/18(火)
令和7年 稲作(収量、
品質、収量構成要素)
の評価

第5回 12/9(火)
カルテ評価による
課題抽出と対策の策定

2026
第6回 1/27(火)
令和8年稲作の
技術戦略の策定

お問合せ

株式会社ファーム・フロンティア

〒998-0824 山形県酒田市大宮町4-9-3

TEL/FAX: 0234-25-0830/0831 E-mail: info@famfro.co.jp

